

スーパーマルチ LCD メーター 取扱説明書

製品番号 05-05-0029

適応車種及び フレーム番号	シグナス X SR (SEA5J) [BF91] シグナス X 台湾モデル (2UB1)
------------------	---

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。

◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

◎H.I.D. や他社製 LED ヘッドライトキット、追加メーター類との同時装着は出来ません。

◎本メーターで表示する事の出来る、TEMP(エンジン温度)及びA/F(空燃比)は、車両の純正 ECU より出力される情報を元に算出しております。

外付けメーター等で別途計測した場合、表示される値に差異が生じる可能性があります。予めご了承下さい。

◎前輪タイヤ外径補正機能により、表示速度を増減補正する事が出来ませんが、不適切な設定を行なえば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。公道でお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。

◎製品プログラムは予告無く変更・改良される場合があります。

同一の商品番号であっても製造時期により、動作や画面が多少異なる可能性があります。予めご了承下さい。

～特 徴～

○純正メーターと交換するだけで、一切の配線加工等を必要とせず装着する事が出来ます。

純正メーターの機能に加え、エンジン温度・空燃比・バッテリー電圧も表示出来るようになり、その他にも回転数・速度・温度のピークホールド機能や、前輪タイヤ外径補正、バックライト色変更など、非常に多くの機能を搭載しています。

○通常使用モードでは、ボタン操作により オドメーター / トリップメーター及び、時計 / 温度 / 空燃比の切り替えに機能を絞る事で、シンプルに使いやすく設計されていますが、

別途パワーテストモードを選択する事で、競技用機能として区間加速タイム測定機能(グラフ表示付き)も備えております。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	スーパーマルチ LCD メーター	1	
2	結束バンド 200mm	1	00-00-0269 (10 ケ入り)

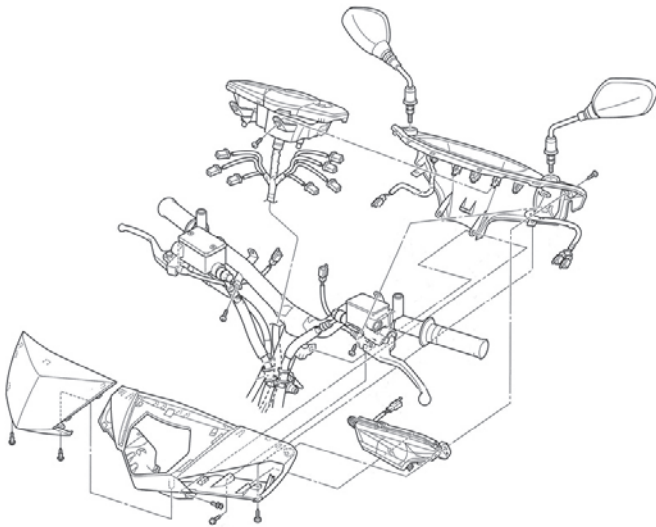
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

1. サーマニュアルを参照しながら、ハンドルアップカバーを取り外し、純正メーターを取り外して下さい。



2. 純正メーター裏側に取り付けられている、ケーブルステーを取り外します。スクリー3本は再使用しますので、紛失しない様にご注意下さい。



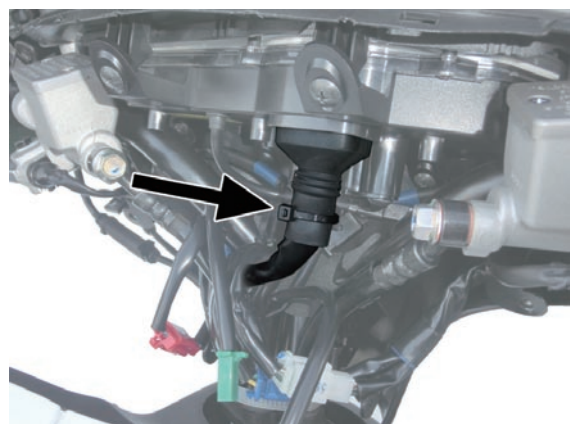
3. スーパーマルチ LCD メーターに、純正のケーブルステーを取り外したスクリー 3 本で取り付けします。

⚠ 注意：タッピングスクリーなので、初回は特に締め付けが硬くなっていますので、ご注意ください。



4. 純正メーターを取り外した逆手順で元通り組み付けますが、スーパーマルチ LCD メーターに取り付けした、純正ケーブルステーに、必ず車両のメーターハーネスを結束バンドで固定して下さい。

⚠ 注意：純正ケーブルステーに車両のメーターハーネスを固定しなければ、スーパーマルチ LCD メーターコネクタ部破損の原因となりますので、必ずメーターハーネスをステーに結束バンドで固定して下さい。



なお、スーパーマルチ LCD メーターに車両のメーターハーネスを接続すると、キー OFF であっても一度メーターに電源が入り、タコメーターが振り切るオープニング動作と、LCD ディスプレイに弊社ロゴや r0/p といった文字及び十字上のパターン表示を行った後、自動で電源 OFF になりますが、セルフチェック動作ですので正常です。

また、表示される文字は弊社管理用の為、ご購入頂く時期などにより数値が異なる場合があります。

5. 後述の動作確認を行った後、元通り組み付けを行います。

■メーター起動

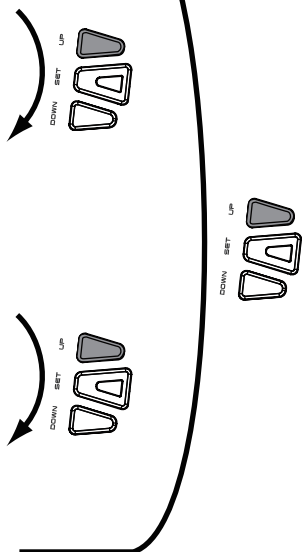
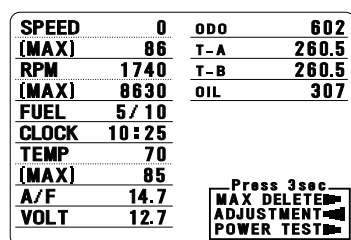
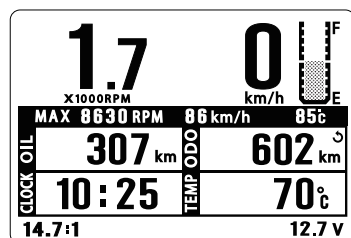
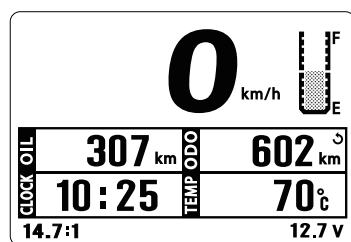
キー ON にすると、全てのインジケーターが点灯し、タコメーターが振り切るオープニング動作と、LCD ディスプレイに弊社ロゴを表示した後、前回使用していたメイン画面になります。

■インジケーターについて



左 / 右 ターンインジケーター	純正メーター同様、方向指示器に合わせて点滅します。
ハイビームインジケーター	純正メーター同様、ヘッドライトをハイビームにすると点灯します。
FI チェックインジケーター	純正メーターのエンジン警告灯と同様に、エンジンの電気回路に異常が発生したとき、点灯もしくは点滅します。
温度 / 速度インジケーター	ADJUSTMENT モードで設定した、ALARM 値を超えると点滅します。 温度が ALARM 値を超えた場合、赤色。 速度が ALARM 値を超えた場合、青色。 両方とも超えている場合は赤・青交互点滅します。
空燃比インジケーター	エンジン運転中、ADJUSTMENT モードで設定した閾値と、純正 ECU から取得した A/F 値に応じて、青・緑・赤の 3 色に変化します。 設定により消灯させる事も可能です。

■メイン画面の切り替え



キー ON しオープニング動作を終えた後、メイン画面に切り替わります。

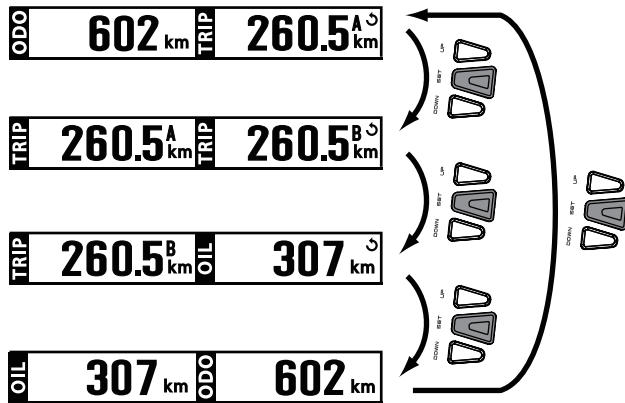
メイン画面は、

- ・スピードメーターモード
- ・タコメーター+スピードメーターモード
- ・詳細表示モード

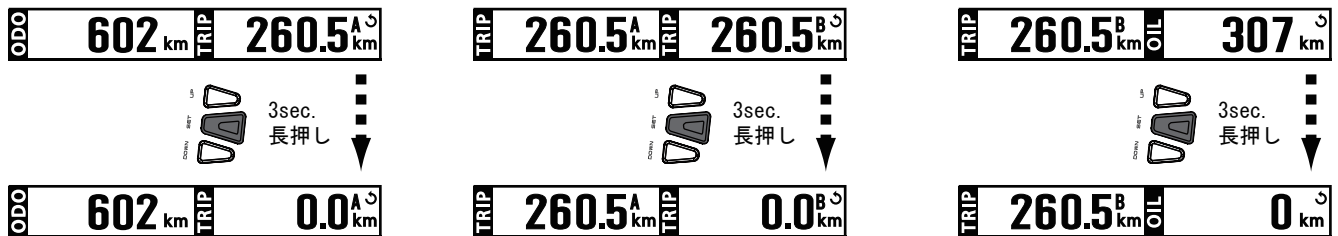
の 3 画面があり、上ボタンを押す事で順に切り替わります。

■オド・トリップメーターの切り替え

メイン画面が スピードメーターモード 及び タコメーター+スピードメーターモード の時に、中ボタンを押す事で、ODO / TRIP A / TRIP B / OIL の表示を切り替える事が出来ます。

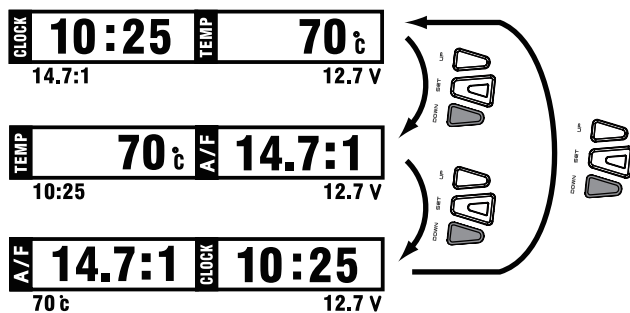


TRIP A / TRIP B / OIL については、右側に表示されている際に中ボタンを 3 秒長押しする事で、値をリセットする事が出来ます。



■時計・エンジン温度・空燃比の切り替え

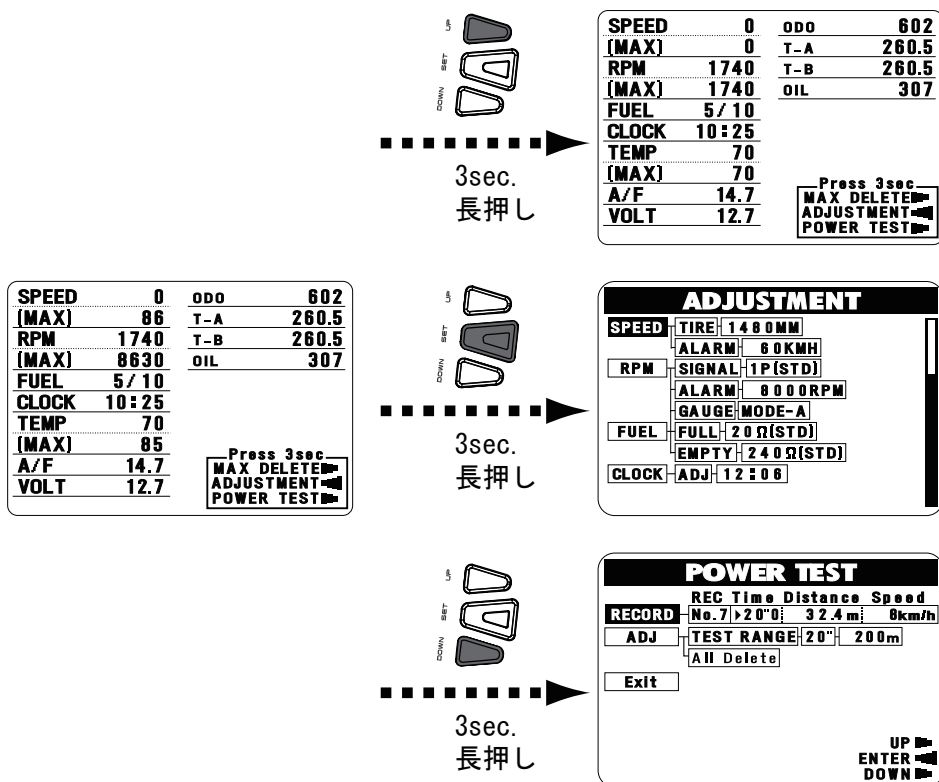
メイン画面が スピードメーターモード 及び タコメーター+スピードメーターモード の時に、下ボタンを押す事で、CLOCK / TEMP / A/F の表示を切り替える事が出来ます。



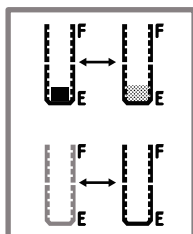
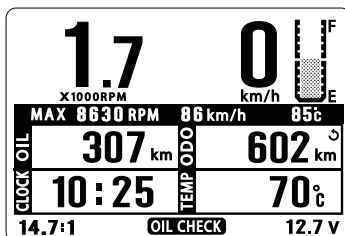
■詳細表示モードについて

メイン画面が詳細表示モードの時、速度・エンジン回転数・エンジン温度の最高記録〔MAX〕が表示されます。
この最高記録は、キーを OFF にしたり、車両からメーターを取り外しても消えません。

詳細表示モードの時に、上ボタンを 3 秒長押しする事で、最高記録〔MAX〕値を消去する事が出来ます。
また、中ボタンを 3 秒長押しする事で、メーターの各種設定を行う ADJUSTMENT モード になります。
同様に、下ボタンを 3 秒長押しする事で、POWER TEST モード になります。



■その他表示について



・燃料計について

メイン画面が スピードメーターモード 及び タコメーター+スピードメーターモード の時に表示されている燃料計は、10 目盛りありますが、2 目盛り以下になると目盛り部分が点滅を開始し、0 目盛りになると枠部分が点滅します。

⚠ 注意：後述の ADJUSTMENT モード内の設定を誤った場合などは、不意のガス欠の恐れがあります。
特にメーターを取り付けられた最初や設定を変更された場合などは、早めの給油を行い、残目盛り数とガソリン残量の関係を確認される事をお勧めします。

・OIL CHECK 表示について

メイン画面が スピードメーターモード 及び タコメーター+スピードメーターモード の時に、後述の ADJUSTMENT モード内で設定されている OIL CHECK の距離を過ぎると、メイン画面下部に OIL CHECK の表示が出ます。
オド・トリップメーターを切り替え、OIL の表示をリセットする事で OIL CHECK 表示を消す事が出来ます。

・電圧表示について

メイン画面が スピードメーターモード 及び タコメーター+スピードメーターモード の時に、画面右下に電源電圧を常時表示します。
表示範囲は、8.0V ~ 18.0V で、8.0V 未満の場合は -.V 18.0V を超えると -.V となります。

・タコメーター+スピードメーターモード の時の最大値について

メイン画面が タコメーター+スピードメーターモード の時、中央部に最高記録〔MAX〕表示されます。
最高記録〔MAX〕を消去するには、上ボタンを 3 秒長押しして最高記録〔MAX〕値を消去して下さい。

・TEMP / A/F の表示について

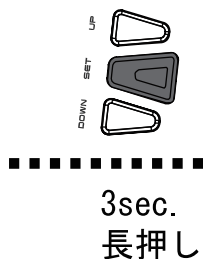
本メーターの TEMP / A/F 値は、純正 ECU からの信号を元に表示しております。
連続でキーを ON/OFF するなどして、純正 ECU からの信号との同期に問題が生じた場合、値が表示されずに -.V といった表示になる場合があります。
そのような場合は、一旦キー OFF にして 5 秒以上待った後、再度キー ON して下さい。

■ ADJUSTMENT モードについて

メイン画面が詳細表示モードの時、中ボタンを3秒長押しする事で、メーターの各種設定を行う ADJUSTMENT モード になります。

SPEED	0	ODO	602
(MAX)	86	T-A	260.5
RPM	1740	T-B	260.5
(MAX)	8630	OIL	307
FUEL	5/10		
CLOCK	10:25		
TEMP	70		
(MAX)	85		
A/F	14.7		
VOLT	12.7		

Press 3sec
MAX DELETE
ADJUSTMENT
POWER TEST



ADJUSTMENT	
SPEED	TIRE 1480MM
	ALARM 60KMH
RPM	SIGNAL 1P(STD)
	ALARM 8000RPM
	GAUGE MODE-A
FUEL	FULL 20Ω(STD)
	EMPTY 240Ω(STD)
CLOCK	ADJ 12:06

ADJUSTMENT モード時、上・中・下ボタンはそれぞれ下記の様に動作します。

上ボタン	項目を上に移動	・ 値を増加させる
中ボタン	項目を右に移動	・ 反転表示されている項目を選択
下ボタン	項目を下に移動	・ 値を減少させる

● SPEED の設定

- ・ TIRE
タイヤ外周長を入力します。（出荷時設定 1480mm）

⚠ 注意：装着しているタイヤサイズに対し、設定値が適正な値より小さい場合は、実際の車速よりも純正スピードメーターに表示される速度の方が遅いという事になり、スピード違反の原因となりますので特にご注意下さい。

- ・ ALARM
設定した速度を超えると、速度インジケーターが青色に点滅します。（出荷時設定 60km/h）

● RPM の設定

- ・ SIGNAL
エンジン1回転あたり回転信号数を設定します。
出荷時設定の 1P(STD) にしておいて下さい。
基本的に 0.5P/2P は使用しません。
- ・ ALARM
設定したエンジン回転数を超えると、指針式タコメーター外周の GAUGE LED が点滅します。（出荷時設定 8000rpm）
- ・ GAUGE
指針式タコメーター外周の GAUGE LED 点灯パターンを設定します。（出荷時設定 MODE-A）

MODE-A	ピークホールド付き増加追従パターン
MODE-B	1点追従パターン
MODE-C	MODE-B の反転パターン

⚠ 注意：後述の ILLUMI の設定内で、RPM の輝度を 0 にしていると、GAUGE LED は点灯しません。

● FUEL の設定

- ・ FULL
満タン時のセンサー抵抗値を設定します。
基本的に出荷時設定の 20 Ω (STD) にしておいて下さい。
- ・ EMPTY
ガス欠時のセンサー抵抗値を設定します。
基本的に出荷時設定の 240 Ω (STD) にしておいて下さい。

⚠ 注意：センサー抵抗値の設定を誤った場合などは、不意のガス欠の恐れがあります。
特にメーターを取り付けられた最初や設定を変更された場合などは、早めの給油を行い、残目盛り数とガソリン残量の関係を確認される事をお勧めします。

● CLOCK の設定

12 時間表示。 分の値を変更する度に、非表示ですが秒数は 0 秒に戻ります。

● TEMP の設定

エンジン温度センサー部の温度が、設定した温度を超えると温度インジケーターが赤色に点滅します。（出荷時設定 100℃）

● A/F の設定

- ・ SENSOR
センサーの種類を設定します。出荷時設定の STD にしておいて下さい。
- ・ RICH
ここで設定した値より小さい値を示す時、空燃比インジケーターを青色点灯します。
- ・ LEAN
ここで設定した値より大きい値を示す時、空燃比インジケーターを赤色点灯します。

RICH より大きく、LEAN より小さい値の時、空燃比インジケーターは緑色点灯します。
また、どちらかでも設定値を “OFF” に設定する事で、空燃比インジケーターを消灯する事が出来ます。

● ILLUMI の設定

- ・ LCD
バックライト色を選択します。
WH: 白色 YL: 黄色 OR: 橙色 RE: 赤色 PK: 桃色 PL: 紫色 BL: 青色 LB: 空色 GR: 緑色
- ・ 5/5 ~ 0/5
バックライト輝度を設定します。
- ・ WH/BK
メイン画面が スピードメーターモード 及び タコメーター+スピードメーターモード 時の表示を、白ベースもしくは黒ベースから選択します。

また、設定が 2 段並んでいます。日本仕様車の場合は上段の設定しか有効になりません。
台湾仕様車でヘッドライトスイッチが装着されている車両の場合、ヘッドライト OFF で上段の設定（日中モード）で点灯し、ポジション点灯もしくはヘッドライト点灯時は下段の設定（夜間モード）で点灯します。
- ・ RPM
指針式タコメーター外周の GAUGE LED 点灯輝度を設定します。
0/5 に設定する事で GAUGE LED を消灯する事が出来ます。

- ・ LCD CONTRAST
液晶画面のコントラスト調整。

● ODO の設定

- ・ USER ODO
任意の ODO メーター距離を設定出来ます。
下の行に表示している [00000 KM] は、本メーターの積算走行距離で、任意設定やリセットする事は出来ません。
- ・ OIL CHECK
ここで設定した距離を OIL トリップメーターの距離を超えると、メイン画面下部に OIL CHECK が表示されます。
オイル交換の管理などにご利用頂けます。

● EXIT

この項目で中ボタンを押すことで、ADJUSTMENT モードを終了します。
また、EXIT 以外の項目でも中ボタンを 3 秒長押しするか、約 30 秒間何もボタンを押さなくても、ADJUSTMENT モードを終了します。

■ POWER TEST モードについて

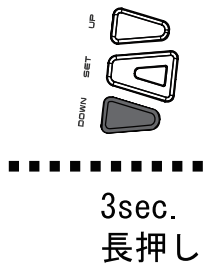
- ⚠ 警告 : POWER TEST モードは、十分に安全を確保出来る見渡しの良い場所で行なってください (貸切サーキット等)。
POWER TEST モード時に全開測定する場合は、車両に過酷な使用状態となります。
その為、測定中に車両破損の可能性も高くなりますので、走行前に車体の各部を十分点検して下さい。
小さなトラブルであっても、解決するまで絶対に測定を行わないで下さい。
また、走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して、如何なる場合においても弊社は一切の責任を負いません。

メイン画面が詳細表示モードの時、下ボタンを3秒長押しする事で、POWER TEST モード になります。

SPEED	0	ODO	602
(MAX)	86	T-A	260.5
RPM	1740	T-B	260.5
(MAX)	8630	OIL	307
FUEL	5 / 10		
CLOCK	10:25		
TEMP	70		
(MAX)	85		
A/F	14.7		
VOLT	12.7		

Press 3sec
MAX DELETE
ADJUSTMENT
POWER TEST



POWER TEST			
RECORD	REC Time	Distance	Speed
No. 7	20"0	32.4 m	8km/h
ADJ	TEST RANGE	20"	200m
All Delete			
Exit			

UP
ENTER
DOWN

● RECORD について

新たに測定を行う時や測定した履歴を確認する際は、この項目で行います。

● ADJ について

・ TEST RANGE

新たに測定を行う時の、測定時間及び測定距離を設定します。

この値を変更しても、測定済みの履歴には影響しません。

測定時間の設定範囲は、5 ~ 60 秒。 5 秒単位で設定します。

測定距離の設定は、20・30・40・・・80・90・100・200・300・400・500・1000m から選択となります。

・ All Delete

測定結果を全消去します。

ボタンの押し間違いで全消去しない様に All Delete を選択した後、Reconfirm が表示された状態で再度中ボタンを3秒長押しする事で全消去となります。

● EXIT

この項目で中ボタンを押す事で、POWER TEST モードを終了し、詳細表示モードに戻ります。

■ POWER TEST モード 測定方法について

POWER TEST 画面の RECORD が反転している状態で、中ボタンを押すと RECORD 選択画面になります。

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	TEST RANGE		20"	200m
	All Delete			
Exit				

UP
ENTER
DOWN

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

RECORD は No. 1 ～ No. 9 まで 9 データ記録出来、上または下ボタンで上下にスクロールする事が出来ます。

上下ボタンにて REC 番号 (RECORD 番号) を選択し、中ボタンを押す事で当該番号の RECORD データ画面になります。

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

RECORD データ画面になったら、中ボタンを 4 回押して選択を MENU タブに移動させます。

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

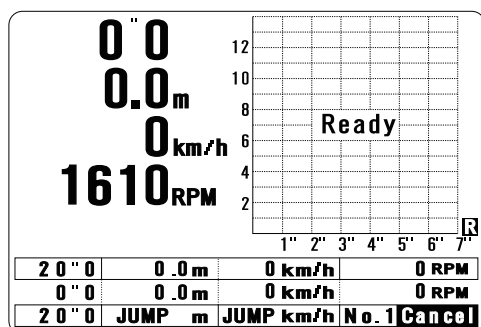
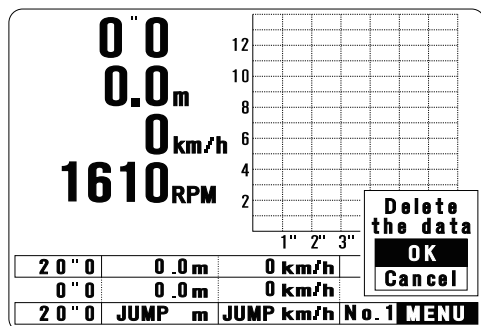
UP
ENTER
DOWN

MENU タブが反転している状態で、上ボタンを 2 回押して選択を TEST タブに移動し、中ボタンを押します。

POWER TEST				
	REC	Time	Distance	Speed
RECORD	No. 1	0"0	0.0m	0km/h
ADJ	No. 2	0"0	0.0m	0km/h
	No. 3	0"0	0.0m	0km/h
Exit	No. 4	0"0	0.0m	0km/h
	No. 5	0"0	0.0m	0km/h
	No. 6	0"0	0.0m	0km/h
	No. 7	0"0	0.0m	0km/h

UP
ENTER
DOWN

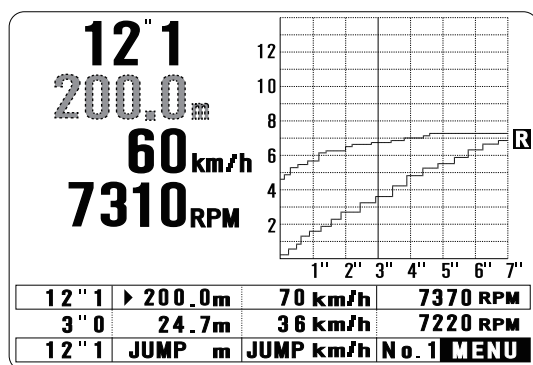
現在選択中の RECORD データを消去して良いかの確認が出ますので、上下で OK もしくはキャンセルを選択し、中ボタンで決定します。購入時や一度も記録していない RECORD データ No. であっても、確認は出ますので計測時は OK を選択して下さい。画面に “Ready” の文字が表示され、パワーテストの走行開始待ち画面に切り替わります。



この状態で走行を開始すると自動で計測を開始し、TEST RANGE の項目で設定した時間もしくは距離に到達するまで記録し続け、計測終了要因となった項目が点滅します。また、下部表の上段に終了要因となった値の左に、“▶”が表示されます。なお、途中で車両が停止したり、ボタンを押しても計測停止します。

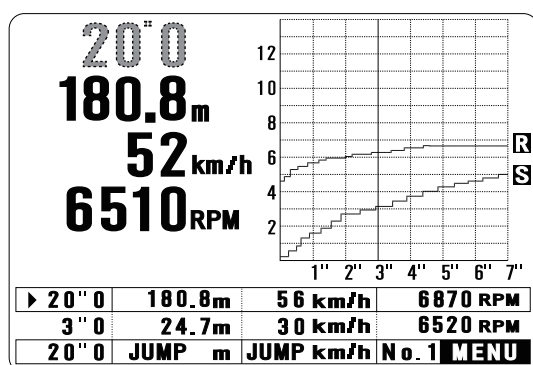
計測例 1)

TEST RANGE 設定を [20 秒 ・ 200m] とし、12.1 秒で 200m に到達し、車両がまだ 60km/h で走行中の状態。(200.0m の表示が点滅)

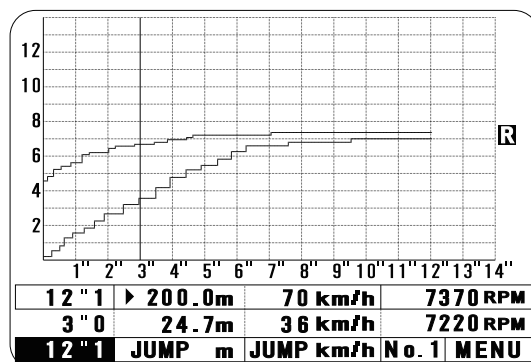


計測例 2)

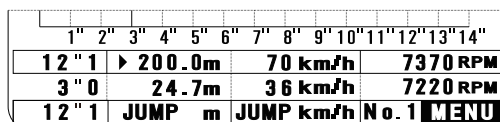
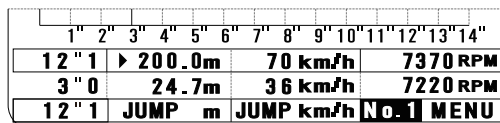
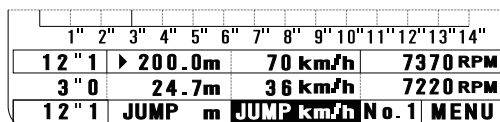
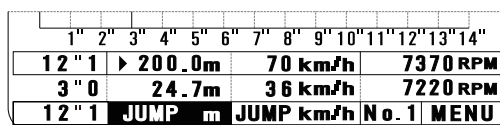
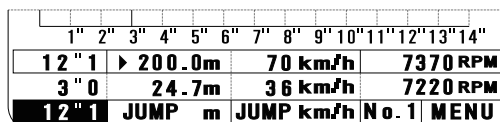
TEST RANGE 設定を [20 秒 ・ 200m] とし、20 秒時に 180.8m 走行し、車両がまだ 52km/h で走行中の状態。(20 "0 の表示が点滅)



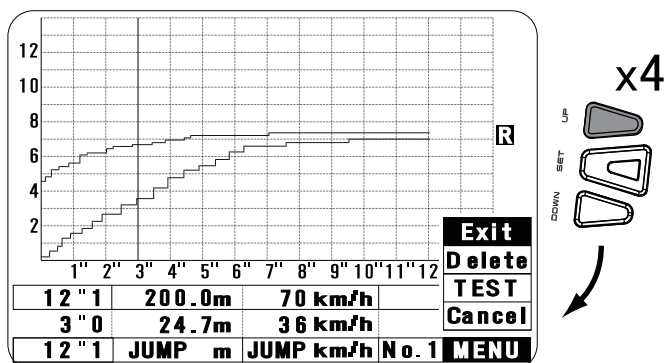
車両が停止すると RECORD 表示画面に自動的に切り替わります。



RECORD データ画面になったら、中ボタンを 4 回押して選択を MENU タブに移動させます。



MENU タブが反転している状態で、上ボタンを 4 回押して選択を Exit タブに移動し、中ボタンを押すと POWER TEST モードを終了します。



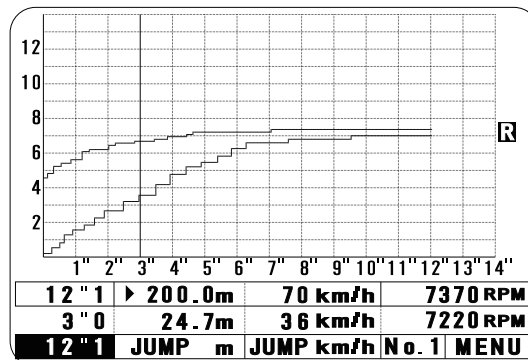
■ POWER TEST モード データ確認方法について

計測したデータについて、

50m・100m・200m・400m・500m・1000m

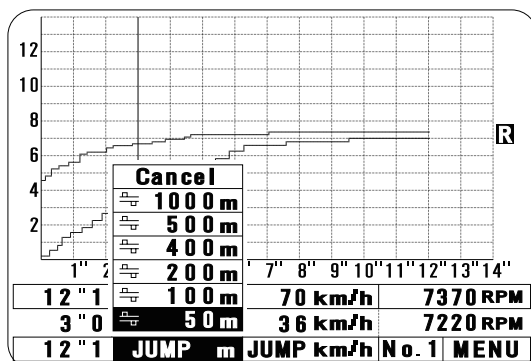
50km/h・100km/h・150km/h 表示している RECORD 内の最高速度到達タイムを表示する事が出来ます。

POWER TEST モードに入り、確認したいデータを表示させます。

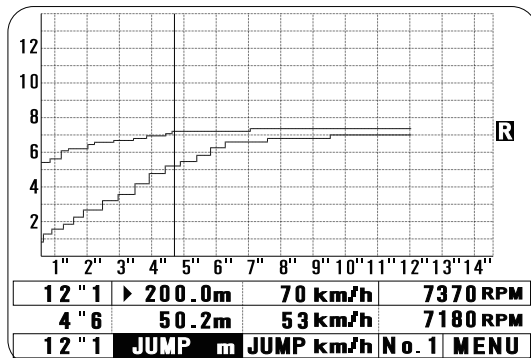


●選択した距離に到達した際の速度・経過時間を確認する方法

中ボタンを1回押し JUMP m を反転させた状態で、上下ボタンで距離を選択します。



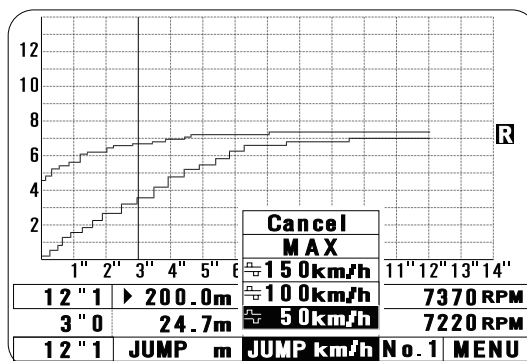
中ボタンを押して決定すると、選択した距離を超えた最初のデータが下部の表中段に表示され、グラフのカーソルが移動します。



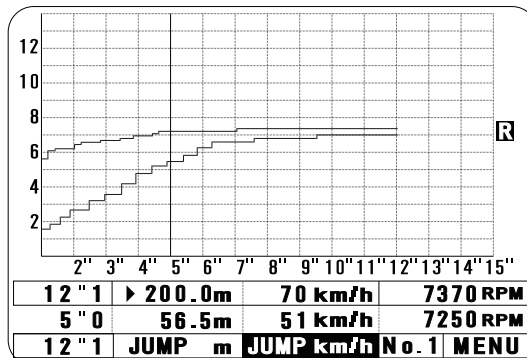
なお、記録が存在しない距離を選択した場合
(例えば200mまでしかないRECORDで、400m以上のJUMP距離を選択した場合)、3秒の位置のデータを表示します。

●選択した速度に到達した際の距離・経過時間を確認する方法

中ボタンを2回押し JUMP km/h を反転させた状態で、上下ボタンで速度を選択します。



中ボタンを押して決定すると、選択した速度を超えた最初のデータが下部の表中段に表示され、グラフのカーソルが移動します。

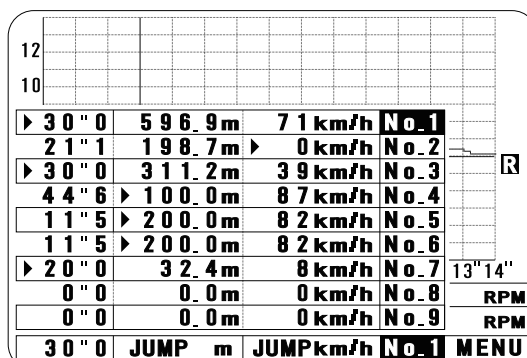


なお、記録が存在しない速度を選択した場合
(例えば最高速度が40km/hまでしかないRECORDで、50km/h以上のJUMP速度を選択した場合)、3秒の位置のデータを表示します。

また、速度が上下した記録の場合など、選択した速度が複数ある場合は、一番スタートに近い記録データを表示します。

●他のRECORDを確認する場合

POWER TEST モードに入った最初の画面でも表示する RECORD を選択出来ますが、RECORD 表示画面からも No. ○ を反転させた状態で、上下ボタンで他の RECORD を選択し、中ボタンを押す事で、他の RECORD 表示に変更する事が出来ます。



■トラブルシューティング

TEMP 及び A/F の数値が表示されない	本メーターの TEMP 及び A/F 値は、純正 ECU からの信号を元に表示しております。 連続でキーを ON/OFF するなどして、純正 ECU からの信号との同期に問題が生じた場合、 値が表示されずに - - といった表示になる場合があります。 そのような場合は、一旦キー OFF にして 5 秒以上待った後、再度キー ON して下さい。 また、他社製インジェクションコントローラーなどで純正 ECU への O ₂ センサー信号を 改竄するような物を併用された場合、A/F が表示されなかったり、実際の A/F とは 異なる値を表示する可能性があります。
イグニッションキーを OFF にする度、時計がリセットされる。	本メーターへ常時電源のみが正しく供給されていない場合、時計がリセットされます。 車両側純正メインハーネスのメーターコネクタの接触不良の可能性がありますので、 後述のメーターコネクタ接触不良対策を講じてみて下さい。
ウインカーインジケータが片方点灯しない ハイビームインジケータが点灯しない など、特定の機能だけ動作しない。	車両側純正メインハーネスのメーターコネクタの接触不良の可能性がありますので、 各端子に後述のメーターコネクタ接触不良対策を講じてみて下さい。

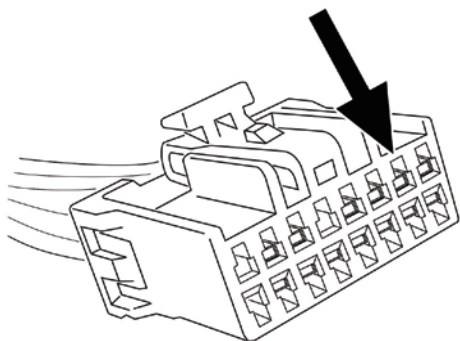
■メーターコネクタ接触不良対策について

シグナス X SR(SEA5J) 及びシグナス X 台湾モデル (2UB1) に使用されている純正のメーターコネクタは、メインハーネスの取り回しや部品の個体差によりコネクタ部で接触不良を起こす可能性があります。

メーター側ではなく車両の純正コネクタに起因する不具合の為、下記内容を参照し確認して下さい。

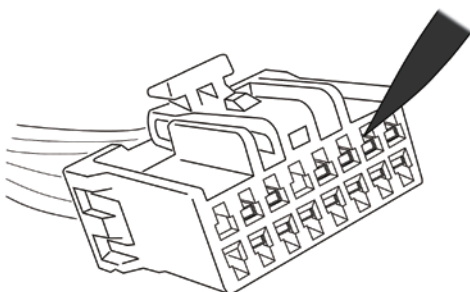
- ・ステアリングを左右一杯にきった際に、メインハーネスの取り回しによってはハーネスのコードをひっぱる力が働き、コネクタ内端子に無理がかかる恐れがありますので、ステアリングをきった際でも、ハーネスに無理が掛かっていない事を確認して下さい。
ハーネスに無理な力がかかる事により、コネクタ内端子が抜けかかったり、端子間の圧着力が低下したりする事で接触不良の原因となります。
また、取り付け要領の項目 4 番でも指示してありますが、メーターへ接続するハーネスは必ずメーター裏のステーに結束バンドで固定し、コネクタ部に力が掛からない様にして下さい。
- ・イグニッションキーを OFF にする度、時計がリセットされるような場合は、下図を参考にコネクタ内ターミナルをわずかに変形させて端子間の圧着力を強めて下さい。

1. コネクタを前方から見て矢印位置の端子（赤コード）が、常時電源の端子となります。



2. バッテリーのマイナス端子接続を外してから、鋭利な棒（干枚通し等）を用いて、わずかに変形させて端子間の圧着力を強めて下さい。

⚠ 注意：常時電源端子ですので、バッテリーを外さなければ常時電気が来ております。
ショートがありますので、必ずバッテリー端子を外してから作業を行って下さい。
また、端子を変形させすぎるとメーターの端子が刺さらなくなり、コネクタを差し込む事が出来なくなりますのでご注意下さい。



■端子部分拡大図

